



64th IFALPA Annual Conference, Auckland

Asia/Pacific Regional Conference 報告

IFALPA 年次総会開催後の二日目、地球を五つの地区に分け、地区総会 (Regional Conference) が行われました。日本が所属するアジア・太平洋地区では 16 カ国の Member Association (MA)、IATA や JAL907 便事故裁判の活動に参加した、IFATCA 副会長である Scott G Shallies 氏の Observe 参加などを含め 53 名が出席しました。Regional Conference では、アジア・太平洋地区の 5 名の RVP (Regional Vice President) から一年の活動総括が報告され、各国の MA から最近の状況を Update されました。またアジア・太平洋地区の役員選挙が行われました。

役員選挙：石山勉機長再選

今回は IFALPA 本部役員で、アジア・太平洋地区を統括する、Executive Vice President (EVP) と、North of Pacific (NOP) 及び、Asia/East の 2 名の RVP、Total 3 名の役員選挙が行われました。以下の 3 名が選出され、今後 2 年間の活動が期待されています。

Executive Vice President (EVP) Asia/Pacific Region ; Captain Stu Julian (New Zealand)

Regional Vice President (RVP) North of Pacific ; Captain 石山 勉 (Japan)

Regional Vice President (RVP) Asia/East ; Captain Korn Mansumitchai (Thailand)

RVP は、上記の RVP NOP, Asia/East の他に Asia/West, South of Pacific そして Central Pacific と Asia/Pacific 地区には 5 名の RVP がいます。RVP NOP は、韓国、中国、モンゴル、香港、日本と北太平洋地区に関連する ICAO が主宰する各種 Meeting や Seminar、JCAB との協議などに参加し、また、上記の各国 Pilot 協会との密接な連絡を行います。

JAL907 便事故に対する支援活動のお礼

今年 2009 年 1 月 29 日、30 日に行われた JAL907 便事故裁判を支援する活動には、IFALPA から Captain Stu Julian, IFATCA から Scott G Shallies 氏が参加しました。JAL907 便事故では、起訴された二名の管制官に対し、東京地裁は無罪の判決を下しましたが、東京高裁は一転し有罪の判決を下したため、現在最高裁で審議が行われています。この裁判は世界中の関心を集めており、二名の管制官の無罪を求める署名活動には、世界 68 各国及び IFALPA Officer から、合計 168 通の署名が寄せられました。これらの署名は 1 月 29 日、世界中の Pilot を代表し Captain Julian から最高裁に届けられています。また、30 日には Captain Julian、Shallies 氏も参加し、総計 200 名で銀座のデモ行進を行い、管制官の無罪獲得と、刑事責任追及よりも事故調査の優先について広く訴えましたが、会議の中で、30 日のデモ行進を伝える新聞報道も紹介され、各国の大きな関心呼びました。

これらの活動の支援と参加に対し、RVP NOP の石山機長と ALPA Japan は各国と IFALPA Officer の協力に心より感謝の意を伝えました。最高裁の判決はまだでていませんが、二名の管制官の無罪獲得に留まることなく、日本の事故調査の改善のために、今後も更なる取り組みが必要です。

(次頁に続く)



Graphic NOTAM

国交省は Website で Graphic NOTAM の Service を開始しましたが、この Graphic NOTAM について、RVP Asia/East の Captain Korn Mansumitchai より紹介がありました。

2009年2月の時点で、以下の左の8か所の空港の Graphic NOTAM を Web 上で入手することができ、将来右の10か所の Graphic NOTAM が計画されています。

- Narita international airport / RJAA
- Chubu Centrair international airport / RJGG
- Kansai international airport / RJBB
- Tokyo international airport / RJTT
- Osaka international airport / RJOO
- Hakodate airport / RJCH
- Sendai airport / RJSS
- Fukuoka airport / RJFF

- Kochi airport / RJOK
- Nagasaki airport / RJFU
- Oita airport / RJFO
- Miyazaki airport / RJFM
- Kumamoto airport / RJFT
- Kagoshima airport / RJFK
- Naha airport / ROAH
- Hiroshima airport / RJOA
- Takamatsu airport / RJOT
- Niigata airport / RJSN

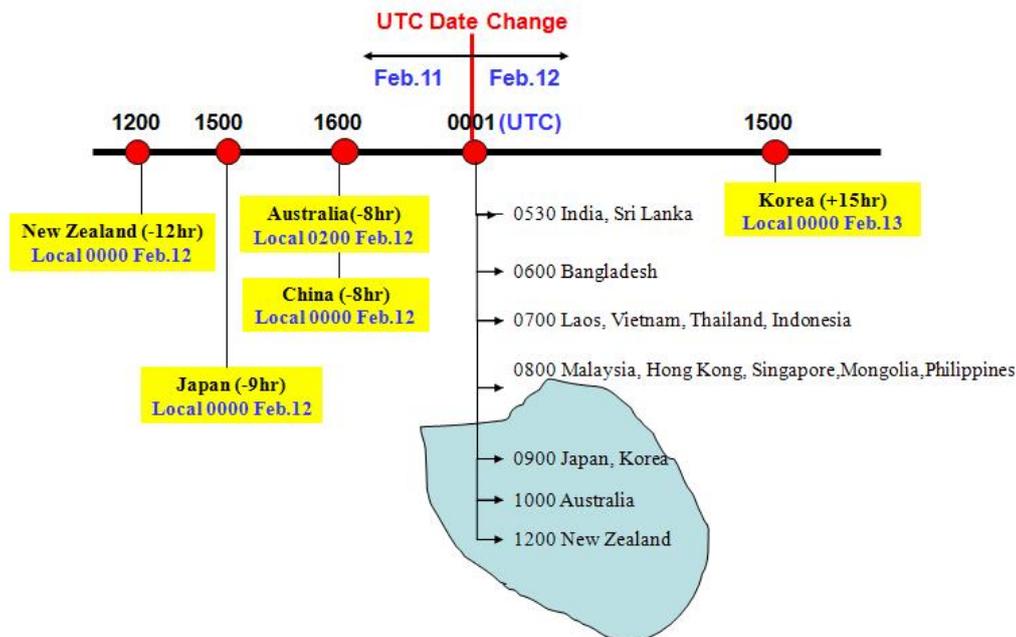
これらの情報を入手するには、次の Website に接続する必要がありますが、詳しくは今後 ATS 委員会報告の中でご紹介していきます。

<https://aisjapan.mlit.go.jp>

Aeronautical Information Regulation and Control (AIRAC)

の切り替え時間の問題

AIRAC の切り替え時間は Annex15 に規定があり ICAO DOC 8126 は UTC 0001 で行うように求めています。しかし、アジアの諸国は UTC との Time Difference の問題で、切り替え時間が朝の混雑の時間帯に合うため、独自の切り替え時間を設定しています。以下の図の様に、



切り替え時間が異なるため、情報が混乱する可能性があります。上記の関連各国と Jeppesen 社は同じ切り替え時間を設定すべく Meeting を持ちましたが、結論には至りませんでした。この問題は安全運航に直接影響することなので、注意深く推移を見守っていきます。